

DC-CAT活動報告会

(Disaster Community-Care Assistance Team)

令和6年能登半島地震

助かったいのちの、その先の”生きる”を支える活動とは？

DC-CATの活動を応援くださる皆さまに心から感謝申し上げます。被災地において増大するケアニーズに対応する公的支援が圧倒的に不足している状況から、2024年1月上旬に、DC-CAT (Disaster Community-Care Assistance Team)を立ち上げました。

発足直後から、厚労省や県庁、各市町行政、およびDMATと協働する形で、延べ2000人以上のDC-CATメンバーが指定避難所、福祉避難所、高齢者施設、障害者施設などに支援に入りました。また4月からは、避難所や仮設の住民の方からの健康相談ダイヤル(シャープ7119機能を持つ電話相談を17時から翌朝8時まで、DC-CATのナースが輪番で対応)、また7月からは、ヘルスケアMaas事業を展開しながら、地域医療や地域包括ケアの復旧プロセスをご支援しています。

助かったいのちの、その先の「生きる」を支え、災害関連死を阻止したいと活動するメンバーたちからの報告をさせていただく会を開催します。皆さま、是非、ご参加ください。

DC-CAT代表 山岸暁美



7月31日(水)

19:00~21:00



参加申し込みは、こちらから
※必要事項を記入すると、ZOOMのURLが届きます